

原価管理 for 商蔵奉行 i11



POINT 1 商蔵奉行ではできない【受注売上・発注仕入】の任意の組合せで対比が可能

受注番号	受注日付	発注番号	発注日付	仕入金額	売上金額
1001	2020年04月01日	1040	2020年04月05日	400,000	184,000
(受注合計)		(仕入合計)		400,000	288,000

商蔵奉行では、受注と発注・売上と仕入の対比は出来ません。原価管理 for 商蔵奉行の明細表では、受注と発注、売上と仕入を対比することができ、集計表では受注・売上・発注・仕入の全てを一覧表にして対比することが出来ます。さらに、物件ごとに粗利も確認出来ます。

明細比較設定

- 受注 - 発注 (1)
- 売上 - 仕入 (2)
- 売上 - 発注 (3)
- 受注 - 仕入 (4)

POINT 3 4種類の計算方法で粗利を自動計算

売上仕入対比集計表では…

- 「受注ー発注」
- 「受注ー仕入」
- 「売上ー発注」
- 「売上ー仕入」

の4種類の計算方法で、粗利金額・粗利率を自動計算します。

POINT 2 要素別に原価を分類

「商品区分3」を使用することによって、仕入れる商品を…

- 「材料費」
- 「外注費」
- 「加工費」
- 「諸経費」等

5種類の原価に分けて管理することが出来ます。

5種類の原価分け

繰越金額	材料費	外注費	労務費	諸経費	未設定	その他	仕入金額計
0	204,000	0	60,000	2,000	0	0	266,000
150,000	4,000	0	60,000	2,000	0	0	216,000
0	100,000	60,000	0	0	0	10,000	170,000
150,000	308,000	60,000	120,000	4,000	0	10,000	652,000

利用条件

Use condition 1 商蔵奉行標準の「商品区分3」の1～5を要素として利用します。※6以降は従来通りにお使いいただけます。

利用例 1:材料費 2:外注費 3:労務費 4:諸経費 5:その他
よって、各発注・仕入商品には対応する「商品区分3」を設定する必要があります。

Use condition 2 プロジェクトを現場(物件名)に利用します。

原価管理をしたい全ての伝票にプロジェクトを入力いただく必要があります。

- 主な業種
- ◆エクステリア ◆インテリア ◆建築板金
 - ◆金属加工業 ◆建設業 ◆コンクリート工業 など…